

令和8年第1回町議会定例会

町長所信表明

令和8年2月19日

岩 泉 町

1 はじめに

本日、令和8年第1回岩泉町議会定例会の開会に当たり、町長として初めて本会議に臨みます。

この場をお借りし、町長としての所信を申し述べ、町民の皆様並びに議員各位に、私のまちづくりへの思いをお伝えしたいと存じます。

去る1月18日に執行されました、岩泉町長選挙におきまして、町民の皆様から御支持をいただき、町政の舵取りを担わせていただくこととなりました。

改めて、心から感謝申し上げますとともに、岩泉町の未来を創っていく、この重責を託されたことに、身の引き締まる思いでございます。

私は、これまで町職員として、東日本大震災や平成28年台風第10号豪雨災害からの復旧・復興、そして、岩泉町のまちづくりに町民の皆様と共に取り組んでまいりました。

その中で「この岩泉町を、より暮らしやすいまちにしていこう」という思いは日増しに強まり、そして、決断をし、今ここに立たせていただいております。

この度の選挙を通じ、町内各地で多くの皆様のお声を伺い、事業者の皆様からも貴重な御意見をいただく中で、この町が直面する現実を改めて実感いたしました。

しかし、それ以上に、皆様が胸に抱いている郷土への強い思いに触れることができました。

こうした皆様のお気持ちに触れるたびに、私をこれまで育ててくれた町民の皆様への、恩返しをするためにも「この町

の未来を築いていく」という覚悟を固めたところでございます。

お聞かせいただいた一つ一つの声が、これからの私の町政運営の揺るぎない礎であり、原点でもございます。

町民の皆様がより豊かに、安心して暮らすことができるよう、自ら汗を流し、希望あふれる岩泉を築いていくために、全力で取り組んでまいり所存でございます。

なお、本年は岩泉町合併 70 周年の節目でもあり、東日本大震災から 15 年、平成 28 年台風第 10 号豪雨災害から 10 年という、正に大きな区切りの年でもあります。

これまでの歴史の歩みを胸に刻み、町民の皆様と共に、未来へと確かな一歩を踏み出すスタートの年とする決意であります。

2 町政運営の基本姿勢

(基本となる考え方)

まずは、まちづくりの基本的な施策の方向につきまして申し上げます。

岩泉町は、多様な自然を有し、地域に根ざした文化や伝統が息づき、多くの誇るべき地域資源にも恵まれ、非常に大きな可能性を秘めた町であります。

一方で、若者の町外流出や、産業の担い手不足といった、町の活力を揺るがす課題にも直面しております。

また、日々の暮らしを支える交通網の維持や、自然災害への備え、防災力の強化など、多くの課題も抱えております。

しかしながら、私たちには、幾多の災害を乗り越えてきた町民の皆様の底力に加え、岩泉町が誇る豊かな自然という大きな力があります。

この、豊かな自然の恵みを最大限に生かし、産業基盤の更なる強化を図ってまいります。

産業の振興と交流人口の拡大に取り組み、地域全体の活力を向上させることで、元気な岩泉町を実現してまいります。

その実現のためには、町民の皆様が世代や立場を超えて、お互いに尊重し合い、新たな挑戦を後押しする、開かれた風通しのよいまちづくりが必要であります。

岩泉町に住む全ての皆様が、この町に誇りを持ち、そして一度この町を離れた若者たちも再び戻りたい、住みたいと思える町を、町民の皆様と共に築いてまいります。

町政を担うに当たり、岩泉町を未来につなぐため、私が最も重視している政策は「定住対策」であります。

「ここに住みたい、住み続けたい」と思っていただけるまちとは、誰もが生き生きと働き、安心して暮らし、誇りを胸に未来を描けるまちであると考えております。

この思いを踏まえ、今後の町政運営に当たり「仕事」「安心」「未来」を三つの柱として位置付け、これらの方針について順次申し述べさせていただきます。

(誰もが働ける環境と若者が働きたくなる仕事づくり)

岩泉町の未来を支えるためには、まず誰もが働ける環境づくりが必要であります。

働く場があってこそ生活は安定し、地域に活力が生まれ、そして次の世代へと夢をつなぐことができます。

この町の多様な自然を基盤とする一次産業につきましても、若者が新しい取組にチャレンジできる支援を講じてまいります。

併せて、農業、畜産業、林業、漁業といった岩泉町の基幹産業が新たな可能性を切り拓き、その発展が全域に波及していくよう、力強く推進してまいります。

近年、クマやシカ、イノシシなどの個体数が増え、農業への被害のみならず、人的被害も発生しております。

町民の皆様はもとより、観光客の方々にとっても安全な地域とするため、対策の強化が急務であります。

令和8年度は、周辺の安全に配慮し、適切な訓練が行える射撃場の整備を支援することで、捕獲体制の強化と担い手の育成を進め、皆様の安全を守ってまいります。

また、中小企業、商店など、商工業をはじめとする、あらゆる業種におきましても、挑戦する方々を力強く後押ししてまいります。

起業支援や事業の承継、事業者の皆様の新しい取組への支援策を積極的に展開し「岩泉町ならチャレンジできる」と実感していただける環境づくりを進めてまいります。

岩泉町の自然環境を最大限に生かせる再生可能エネルギー

の活用は、地域振興に大きく寄与するものと確信しております。

山・川・海など自然環境と共存しながら、民間の投資を促し、岩泉町への貢献や利益となる事業とするべく、推進してまいります。

並行して、町民の皆様の御理解を賜りながら、まちづくり機能を強化する、地域新電力会社の設立につきましても挑戦してまいります。

また、この町の豊かな森林資源は、地域の未来を拓く幅広い可能性を有しております。

令和8年度には、全域で航空レーザ計測を実施し、森林資源の把握と、活用に向けた体制の強化を図ってまいります。

これにより、二酸化炭素吸収量を価値として認証し、地域の収入源に出来る、いわゆる J-クレジット制度の活用も進めてまいります。

地域経済の活性化を図るうえで、交流人口の拡大は不可欠であります。

龍泉洞をはじめとする、岩泉町の宝を最大限に活用し、広域連携や滞在型観光の推進を図りながら、観光産業の充実を更に進めてまいります。

また、企業誘致の推進に加え、地域おこし協力隊制度を活用し、地域の担い手育成や、隊員による起業を後押しし、雇用機会の拡大と町内経済の循環を高め、持続可能な地域の発展につなげてまいります。

併せて、岩泉ホールディングスと連携した岩泉ブランドの価値の向上を図り、経済的効果並びに岩泉町の認知度の拡大

による社会的効果を、これまで以上に高めてまいります。

なお、本年は岩泉ホールディングスが設立 10 周年、更にその前身である、岩泉乳業の操業開始から 20 周年という、地域産業の歩みを刻む、大きな節目の年でもございます。

築き上げてきた品質への信頼と、地域の資源を生かした、岩泉ヨーグルトをはじめとする、特産品づくりに取り組んできた実績を、未来へとつなげるべく、より一層の連携強化を図ってまいります。

(すべての町民の皆様が安心して暮らせるまちづくり)

町民の皆様が安心して暮らしていくためには、交通や住宅、医療、防災など、生活基盤の整備が不可欠であります。

とりわけ、広い町域での移動手段の確保は、町民の皆様の生活を支える上で大きな課題であります。

町民バスの運行形態の見直しや、デマンドタクシーの導入など、公共交通の充実を図る取組を通じ、移動の利便性を高めてまいります。

住環境につきましては、子育て世帯への住宅供給を増やし、宅地分譲地の整備を進めるなど、定住促進を図ってまいります。

併せて、高齢者の皆様安心して暮らすことができる環境づくりも進めてまいります。

空き家対策につきましては、町民の皆様から寄せられた多くの御意見を踏まえ、空き家の解体や活用に向けた支援制度の拡充に取り組んでまいります。

また、全ての町民の皆様が心豊かに暮らせる町を実現するため、健康づくりを進めるとともに、地域医療や介護サービスの充実を図ってまいります。

医療・福祉分野の関係機関とも連携し、支援を必要とする方々が安心して生活できる体制づくりに努めてまいります。

防災につきましては、わずか6年足らずの間に、二度の大災害に見舞われるという試練を乗り越えた経験を生かし、地域防災計画の実効性の向上と、緊急避難場所及び避難所の適切な整備に不断なく取り組んでまいります。

まず、災害発生直後の初動対応を確実に支え、外部支援が届くまでの間も、町民の皆様の生活を守り抜くため、令和8年度は防災備品の備蓄倉庫を整備する計画としております。

誰一人災害によって尊い命が奪われることのない町を実現するため、まずは命を守ることを最優先に、更に災害に強く安全で安心な岩泉を築いてまいります。

また、岩泉町にとって、道路は単なる移動手段のための社会基盤ではございません。

産業経済の活性化や、交流人口の拡大に寄与し、高次救急医療や危機対応を支え、地域経済及び生活の維持存続を担う、極めて重要な生命線であります。

国道・県道につきましては、未改良区間の整備促進を、国や県に強く要望してまいりますとともに、町内の道路や橋梁の強靱化を、着実に進めてまいります。

また、生活基盤を支える上下水道事業につきましては、安定したサービス提供と、将来を見据えた計画的な事業運営を進めてまいります。

地域振興協議会を単位とした地域づくりにつきましては、あらゆる世代が地域に希望を持ち、自分らしく活躍できる環境を整えることが大切であると考えております。

地域ごとの課題を踏まえ、各地域振興協議会との意見交換を深め、必要な支援策を講じ、持続可能で活力ある地域の実現を目指してまいります。

(子育て支援と教育の充実による夢のある未来づくり)

町内で安心して子どもを育てることができる環境を整え、次代を担う子どもたちの教育を充実させる、この「ひとづくり」こそが、未来の岩泉町を創る力であります。

そのために、小中学校や岩泉高校における教育環境の充実を進め、子どもたちが安心して学び、成長できる体制を整えてまいります。

学びの環境整備につきましては、令和8年度に町内全ての小中学校において、一般教室に続き、まずは、特別教室の中でも利用頻度の高い、理科室へのエアコン設置を進めてまいります。

岩泉高校につきましては、2クラス制の継続が極めて重要であります。

そのためには、町内外からの入学生の確保はもとより、地域みらい留学制度を活用した、県外生の受け入れにも力を注いでまいります。

遠方の生徒の受け入れ環境の充実を図るべく、寮の機能の向上に向け、関係機関と協議を重ねてまいります。

また、私が掲げた公約を早期に実現するため、小学校、中学校及び高校の入学時の負担軽減を図り、子どもたちの安心した学びのスタートを支える、新たな支援制度を、令和8年度から導入してまいります。

御家庭への支援を通じ、子育て環境の充実を図り、未来を担う子どもたちの成長をしっかりと支えてまいります。

さらに、子育てに向き合う皆様のお声を伺い、御意見を取り入れながら、妊娠・出産・育児を支える保健サービスの、より一層の向上に取り組んでまいります。

併せて、子どもが自由に遊べる公園などの整備や、スポーツ・文化活動の支援を通じ、子どもたちが笑顔あふれる日々を過ごせる、環境づくりに力を注いでまいります。

また、スポーツ振興の基盤を強化するため、海洋センターの大規模改修に着手し、全ての世代で充実した活動ができる環境を整備してまいります。

加えて、郷土の歴史や文化を次世代へ確かに伝承することで、子どもたちが誇りと夢を持って成長できる土壌を育ててまいります。

また、世代を超え、さまざまな立場の方々が交流する取組は、子どもたちの学びと成長を促すとともに、地域のつながりを深めるために、大きな役割を持つものと考えており、コミュニティ・スクールの取組にも力を入れてまいります。

年齢や立場を問わず、地域に暮らす全ての方々と、子どもたちが交流を深める場を創り、地域全体で心がつながる温かいまちを目指してまいります。

以上、今後の町政運営の基本的な施策の方向について申し述べさせていただきます。

なお、新年度予算につきましては、本来であれば、町長選挙直後の義務的経費を中心とした骨格的予算として編成すべきところではありますが、事業を安定して推進できる期間を確保するため、必要な事業費は、今回予算に加えた上で計上したところでございます。

さらに、公約として掲げ、町民の皆様にお約束をした施策のうち、制度の構築から着手に時間を要するものにつきましては、補正予算において所要の措置を講じてまいります。

また、事業を推進していくに当たり、その財源の確保については、ふるさと納税や、国・県の各種補助金の活用を積極的に図ってまいります。

令和8年度は、岩泉町未来づくりプランの最終年度となり、次期総合計画の策定に臨む大きな節目の年でもございます。

こうした重要な年度を迎えるに当たり、令和8年度は、町民の皆様への公約を着実に実行し、より暮らしやすいまちづくりを推進するため、行財政改革を更に進めてまいります。

加えて、役場内の組織改編にも着手し、強固な実行体制を構築してまいります。

岩泉町がこれからの時代をいかに歩んでいくのか、その道筋を示す、新たな計画の策定に当たりましては、何よりも町民の皆様の声に、真摯に耳を傾けることを大切にしてまいります。

そのために、町内の幅広い世代の皆様から御意見を伺う場を設けてまいります。

さらに、将来を担う若者や女性につきましては、町内にお住いの方はもとより、町外で暮らす、岩泉町にゆかりのある皆様とも意見交換できる機会を模索してまいります。

令和8年度は、未来に向けて、力強く踏み出すことができる計画の策定を進めてまいりますので、町民の皆様のお力添えを心よりお願い申し上げます。

3 むすびに

結びに、改めて私の決意を申し上げます。

私がこの度の選挙で掲げた「チャレンジいわずみ」という言葉は、新しい未来を町民の皆様と共に創っていく、という決意を伝えたかったものであります。

皆様と共に、これから歩む未来への道を創っていく挑戦であります。

私たちは過去から学び、今ある現状をしっかりと受け止め、新しい未来を築いていく必要があります。

待っていても何も変わりません。

失敗を恐れず動いていくことで、新しい未来が拓かれます。

この決意のもと、様々な課題に全力で挑み、誠心誠意その職責を果たしてまいります。

そして、若者は高齢者の皆様に敬意を、高齢者の皆様は若者の意見を尊重し、世代を超えて互いに支え合い、心を一つに

して歩むことで、必ず新しい可能性が見えてくると信じております。

子どもには楽しさと夢を、若者には充実と希望を、高齢者の皆様には生きがいと安心を与えることができる、希望あふれる岩泉を実現するため挑戦していく、これが私の強い思いであります。

町民の皆様の思いを形にするため、町民の皆様の声を聞き、共に考え、誰もが住み続けたいまちを目指して、全力で汗をかき、まちづくりにチャレンジしてまいります。

このことをお誓い申し上げ、私の町長就任に当たっての所信とさせていただきます。